

平成 28 年度 第 1 回松田町総合教育会議 会議録

1 開会及び閉会に関する事項

- (1) 開催日時 平成 28 年 7 月 1 日 (金) 午後 2 時 00 分
- (2) 場 所 松田町役場 2 階防災対策室
- (3) 開会時間 午後 2 時 00 分
- (4) 閉会時間 午後 2 時 50 分

2 構成員の出席者及び欠席者の氏名

- (1) 出席者 松田町長 本山博幸
松田町教育委員会
教育長 吉田保夫 教育長職務代理者 安藤文一
委員 杉本葉子 委員 二宮朗子
(事務局関係)
教育委員会教育課長 小田隆 施設管理係長 宮根正行
- (2) 欠席者 なし

3 傍聴人

4 人

4 協議事項

- (1) 今後の幼稚園、小・中学校のあり方について

5 議題及び議事の要旨

開会 町長あいさつ

本山町長（議長）：本日は、総合教育会議にご出席、ありがとうございます。

さて、議題ですが、平成 27 年度から町立幼稚園、小・中学校の適正規模・配置のあり方について、検討をすすめてきましたが、教育委員会としての一定の方向性を伺っているのです、それをもとに、話し合いをお願いしたい。

(1) 協議事項

① 今後の幼稚園、小・中学校のあり方について

教育委員会としての一定の方向性

小田課長から説明

- ・会議資料のとおり町立幼稚園、小・中学校の適正規模・配置のあり方の目的、現状（少子化、国の動き）、経過を説明。
- ・町教育委員会では、平成 27 年度から町立幼稚園、小・中学校の適正規模・配置のあり方について、「座談会」、「アンケート調査」、「説明会」などで町民の皆様からご意見を伺ってきた。その後、さらに検討・協議を重ね、教育委員会議を開き、教育委員会としての一定の方向性を定めた。

その結果、児童・生徒が今後も減少する傾向であり、国の動き、地域や保護者の方々からのご意見などを総合して、子どもたちの教育の質の確保並びに望まし

い教育環境での教育活動の実施という観点から「寄中学校は松田中学校に統合の方向が望ましい」という判断になった。

なお、小学生にとっては、通学距離が長い。発達段階や精神的な不安、安全性を考慮し、「小学校、幼稚園は現状のまま存続する」という教育委員会としての一定の方向性の判断になった。

ただし、中学校は小規模であることが望ましくないわけではない。現在の状況のように少人数を生かした指導の充実や連携教育も必要であると考え、多人数で学ぶことの方がより教育効果が上がると考えた。

また、その方向性の判断とした各教育委員の意見は次のとおり。

[健やかな学びの保証]

- ・子どもたちが自ら考え、コミュニケーションをとり、グループで協議して課題を解決していく、新しい学びを育てていく力をつけることが教育に求められている。子どもたちの健やかな学びを保証しなければならない。
- ・学校の小規模化は、学校の活力の維持や学習効果を高める面で十分な学習環境の確保が難しく、「生きる力」を育成する教育の推進が困難な点が指摘されている。このように、一定の学習集団の形成が難しい状況は、人間形成に欠かすことのできない社会性の育成といった点で課題を含んでいる。このため、最終的には、子どもの教育環境を整えることを優先に考え、よりよい方向性を考えたい。
- ・仲間との競争意識により互いに切磋琢磨することで教育活動の効果を高めることが期待できる。

[活動の制限]

- ・「部活動やクラブ活動の種類が限定される」、「運動会、文化祭、遠足等の集団活動・行事の教育効果が下がる」、「班活動やグループ分けに制約が生じる」、「協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる」など、活動の制限がある。
- ・クラス替えができないことによる「学級同士が切磋琢磨する教育活動ができない」、「児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる」などの理由から学校運営上の課題も多いため、小規模校で児童数が少ない環境よりも多人数で学ぶことの方がよりよい教育環境と考えたい。
- ・中学校は、ある程度の人数がいた方が、いろいろな活動をするうえでより望ましい。

[指導形態]

- ・教員の加配なしには、習熟度別指導など学級の枠を超えた多様な指導形態がとりにくい。

[その他]

- ・アンケート調査での中学校については、保護者、町民、教員とも、存続すべきという考えよりも統合や一貫校とする意見の方が多く結果となった。

また、幼稚園は、半数以上の方が存続すべきであるという結果であった。

- ・現在、寄小中学校では、複式学級の解消措置により、少人数によるきめ細やかな指導が可能となり、保護者や地域からの期待に応え、信頼を得ている。今後、寄中学校においても複式学級となる懸念がある。県の配慮で複式学級の解消措置により教員の加配がされているが、いつまで措置されるかわからない。

本山町長（議長）：ただ今の教育委員の意見を受けて、教育委員会として、「中学校は統合が望ましい」、「小学校、幼稚園は存続する」の一定の方向性ということが確認できた。他に意見はなにかあるか。

教育委員：統合となった場合、移行時期、交通手段をどうするか。保護者説明会で要望のあった経過措置の対応など検討しなければならないことが多くある。

小田課長：今後のスケジュールとして、本日の総合教育会議の後、7月6日（水）開催される議会全員協議会で状況を報告。7月中旬に寄小・中学校の保護者を対象とした説明会を開催。8月初旬に町広報、ホームページをとおしてパブリックコメント（意見公募手続制度）を実施。8月下旬に住民説明会（寄地区、松田地区）を開催する。またその都度、状況や結果を町長に報告する。

その後、9月上旬に町議会へ報告し、9月末を目途に町として方向性を出す予定で進めたい。

本山町長（議長）：町教育委員会の一定の方向性と今後の進め方について、了承した。

他に意見がなければ、協議事項1については、承認するという事によろしいか。

構成員：全員了承

- 6 その他議長又は会議において必要と認めた事項

なし

- 7 閉会